

高活協通信(2023年4月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■お知らせ

- 今月の“「定年後の仕事」関連情報欄”は、“連載「高齢者はどんな仕事をしているのか」”の第6回目です。
- 高活協通信「今月の一冊」は、「〈必要〉から始める仕事おこし——「協同労働」の可能性」です。
- 高活協ホームページを更新しました。
 - ・「高活協ホームページ」の URL は以下の通りです。
<http://www.agenomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月1回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただければ幸いです。

■2023年3月の主な活動

- 高活協は現在、シンポジウムなど人が多く集まるイベント活動を自粛しております。ただし、少人数の会議やZOOM等を利用したオンラインの会議・イベント等は新型コロナの感染状況を睨みながら適宜実施しております。
- 2023年3月6日、高活協が参加している高齢社会 NGO 連携協議会(高連協)の役員会(オンライン)に出席しました。役員会では2023年度の事業計画等に関する討議が行われました。また、わが国の課題となっている少子化対策に関連して、高齢者としても貢献できることはないか検討することになりました。
- 2023年3月30日、高連協の総会に出席しました。総会では2023年度の事業計画等が承認されました。高活協は引き続き高連協の役員(理事)に選任されました。
- “「定年後の仕事」関連情報欄”では、連載で「高齢者はどんな仕事をしているのか」を掲載していますが、今月からは、「高齢者の多くが実際に従事している仕事は何？」について検討していきます。言うなれば「定年後の仕事ランキング」をテーマにしてみたいと思います。
- 高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ページにおいて、「高活協通信(2023年3月号)」を掲載しました。
- 2023年3月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて—トピックス—◆◆◆」のコーナーでは、“「定年後の仕事」関連情報”を適宜掲載していきます。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.genomics.org/>

◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載させていただき予定です。

◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて – トピックス◆◆◆

生涯現役社会は、「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」という 4 つの寿命の延伸が相乗効果をもたらす社会、すなわち「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

■ちょっとした話題

現在就業している高齢者(65 歳から 75 歳まで)の働き方が、年齢が上がるにつれてどう変わっていくのか、総務省のデータなどから見ると、3 つの変化パターンがあるようです。

- 第 1 の変化は就業形態の変化です。年齢が上がるにつれ雇用されないで働く人が増え、雇用されてもパート・アルバイトといった非正規で働く人が増えていきます。
- 第 2 の変化は労働時間の変化です。年齢が上がるにつれ週 30 時間以上働く人は減り、週 30 時間より少ない時間働く人は逆に増えていきます。
- 第 3 の変化は年収です。年齢が上がるにつれ年収 200 万円以上の人は減り、年収 200 万円未満の人は逆に増えていきます。

■「定年後の仕事」関連情報欄

- 2021 年 4 月から施行された改正高年齢者雇用安定法(=70 歳就業法)では、定年後の継続雇用だけでなく、継続的な業務委託や社会貢献活動への支援といった措置も選択肢になっており、高齢者の多様な働き方を後押ししています。
- 今後このトピックスのコーナーでは、「定年後の仕事」に関連した情報を適宜掲載していきます。高齢者の就業を考える際の参考にしていただければ幸いです。

「高齢者はどんな仕事をしているのか」をテーマにした情報を連載しています。連載第 6 回目の今月号では「非現業部門出身者すなわちホワイトカラー出身者の多くが定年後に従事している、あるいは従事したいと

思っている仕事は何か」について見ていきたいと思えます。そのため今回は高齢者に仕事を提供しているシルバー人材センターのデータを紹介させていただきます。

シルバー人材センターでの希望職種に関しては、数年前に高齢社会の専門研究機関によって行われた調査事例がありました(少し古いですが、傾向は大きく変わっていないと思えます)。この調査事例の中で行なわれたホワイトカラー出身者の希望職種に関する調査の結果(一部)を以下に紹介させていただきます。なお希望職種の集計に関しては、先月号で見たシルバー人材センターの仕事分類における大分類(職群)のレベルで行われています。→(注)参照

ホワイトカラー出身男性の希望職種

管理群(36.7%)、一般作業群(23.7%)、事務群(10.0%)

ホワイトカラー出身女性の希望職種

一般作業群(29.2%)、サービス群(28.4%)、事務群(21.9%)

調査結果に関するコメント

ホワイトカラー出身者が退職後に事務的仕事を希望するとは限りません。特に男性は6割以上が「単純な労務作業」の仕事を希望しています。つまり就業で得られる「生きがい」を「事務労働」に結びつけるのは性急で、様々な仕事をニーズに応じて充実させる必要があるということです。ちなみにシルバー会員の前職の職種構成は、日本の就業者全体の職種分布とほぼ同じ構成となっているということで、これはシルバー会員に特殊な傾向ではないと思えます。

(注)

- 管理群 → 施設管理(建物管理、駐車場管理など)、物品管理(商品管理、資材管理など)
 - 一般作業群 → 屋外作業(屋外清掃作業、農林水産作業など)、屋内作業(屋内清掃作業、包装・梱包作業など)
 - 事務群 → 一般事務(整理事務など)、毛筆・筆耕事務(宛名書きなど)、調査事務
 - サービス群 → 社会活動(各種安全指導サービス、広報関連サービスなど)、福祉・家事援助サービス(高齢者福祉サービス、育児支援サービスなど)、その他のサービス(観光レジャーサービスなど)
-

◆◆◆読み物コーナー◆◆◆

■今月の1冊

人生100年時代を迎え、シニア層の増加を意識した書籍が増えているようです。このコーナーでは、高齢者の就労に関わるテーマや高齢者の社会参加、ライフスタイル、健康問題などを取り上げている書籍を紹介します。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 17-2 兜町第 6 葉山ビル 4 階

TEL: 03-6555-3926 HP: <http://www.agenomics.org>
